

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度		科目名	スタッフワークショップ3
科目基礎情報					
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時限数	240時限
単位数	8単位			授業形態	実習
教科書/教材	必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。				
担当教員情報					
担当教員	森岡重樹・寺嶋陽子・山本浩二・鶴巻一弘・山田岳史			実務経験の有無・職種	有・舞台スタッフ
学習目的					
学生が、より業界での仕事を念頭においた実習内容となり自身の意識も進路に向けたものとしスタッフワークを身に付ける。実習にのぞむ姿勢も、社会にでて協働するということを念頭におきルールやマナーもスタッフワークの一環であるという認識をもつ。実習課題は記録し、それが就職活動において資料や自己PRになるので、完成度や精度を意識したものを制作していく。企業研究も並行し目指す分野や企業のニーズに沿ったものの実習内容とする。					
到達目標					
前期での実習成果が学生の就職活動において大きな比重を占めるので、積極的に行い、高い意識をもつ。実習課題や製作物、レポートといったものは、各学生が記録し保管する。そうすることにより慌てることのない就職活動にもつながり、継続することを目標とし各々のスタッフワークの修練度を確認する。実習日を利用しインターンシップ活動も行えるので、社会に出て、仕込みからリハーサル、本番公演を行うことにより実践力を身に付ける。					
教育方法等					
授業概要	業界へと進み、身に着けておかなければいけないスタッフワークを実習する。1年次に学んだことが落とし込まれているかの確認をしながら、よりブラッシュアップされた内容を学ぶ。				
注意点	前期で行う実習成果が就職活動やインターンシップに大きく影響してくることを意識する。希望する企業を明確にし実習を通して傾向と対策を立てられるとよい。作業しやすい服装・実習ジャンパー着用。アクセサリははずし、長い頭髮はまとめる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	実習課題	60%	各セクションの実習を、落とし込んでいるか。課題を総合的に評価する		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。出席率も反映される		
授業計画（1週～15週）					
	授業内容		各回の到達目標		
1週（2回）	振り返り		各課題の訂正点を考える。希望企業の仕事内容に沿えるスタッフワークについて		
2週（2回）	体験入学スタッフワーク 1		製作・仕込み		
3週（2回）	体験入学スタッフワーク 2		稽古、通し稽古		
4週（2回）	進路		業界の仕事内容に沿ったスタッフワークを調べる		
5週（2回）	進路による課題研究		課題への取り組み、発表準備		
6週（2回）	進路による課題研究発表		課題研究発表		
7週（2回）	分野別用語 1		分野別用語 基礎		
8週（2回）	分野別用語 2		分野別用語 応用		
9週（2回）	実機取扱い 1		分野別実機取扱い 基礎		
10週（2回）	実機取扱い 2		分野別実機取扱い 応用		
11週（2回）	模擬仕込み 1		分野別模擬仕込み 基礎		
12週（2回）	模擬仕込み 2		分野別模擬仕込み 応用		
13週（2回）	中間発表作品研究		作品解釈、夏の体験入学仕込み		
14週（2回）	中間発表仕込み		夏の体験入学仕込み		
15週（2回）	中間発表稽古		夏の体験入学仕込み稽古・通し稽古		